

【一般演題1】 第2席**「杉山流鍼法と管鍼法に関する考察」**

大阪 宮川 隆弘

“管鍼法は、杉山和一によって発明された。”ということが、種々の文献や論文によると、既に定説になっている。しかし、『杉山流三部書』には、管鍼に関する記載は見られず、『鍼灸拔萃大成』に管鍼の方法のみが記されているものが一般には知られているものとして挙げられる。また、管鍼の発明に関しては、曖昧な点が多くみられることも確かである。今回、この点を吟味すべく、杉山和一の生没時代に出版された鍼灸の文献及びこれまでに行われてきた研究論文や伝説に基づいて、検討してみることにする。